

豊平峡・定山溪ダム水源地域ビジョン推進会議

「みずもり会議」 副代表 増田 幸子



もうすぐ、定山溪の山奥にも春がやってきます。
木の芽がほころんで、みるみる若葉が生い茂る
ことでしょう。

今年も去年と同じように、山は緑の草木でおお
われ、花の季節になります。

植物は精一杯広げた葉で、太陽の光を受け止
めて、光合成で有機物を作ります。秋までに、木は
自分の身体をひとまわり大きくします。そして、種子
を広い世界にちらし、来春のために冬芽を用意す

ることでしょう。

まったく同じではないけれど、似たように同じように毎年が過ぎてゆきます。
木は少しずつ育っていきます。

そして、私たちの生活は植物の光合成によって支えられているのです。